

恩納村 GIGA スクール活用例



検索サイトを活用した調べ学習

▲探求的な学習の実現

検索サイトや Web 情報の利用によって、調べ学習等において、スピードアップと内容の充実の両立。



文書作成ソフト・プレゼンソフトの利用

▲だれも取り残されない学習の実現

子どもたちの理解度をリアルタイムで確認することにより、理解できている子どもが少ない場合には、重点的な知識の補充をすることができます。



一斉学習の場面での活用

リモート交流による学習▶

1人ひとりの学習状況に応じた個別学習

リモートにより、県内外の多くの人々と交流することができます。中学校では、校歌作詞者である宮沢和史さんとの交流もすでに実現しており、今後も、外国の学校の児童生徒や、校外の専門家の大人から学ぶ機会が増えていきます。

▼共同学習の充実

1人1台パソコンを活用することで、子ども同士の意見交換、グループ発表等の共同学習を促進します。



▼デジタル教材の活用

電子黒板との連動により、音声や動画、3D 等によるデジタル教材の活用で、学びはより深いものになります。



◀プログラミング教育・情報モラル教育の推進

論理的思考を身につけることを目的とするプログラミング教育が、小学校でも必修化されます。また、情報化社会における情報モラル教育などもひとつの課題であり、インターネットの利用により自分を危険に晒したり、他者を害したりしないようにするための教育も今後は重要になっていきます。



ネットワークによる「つながる」教育が始まっています！

恩納村教育委員会 学校教育課 ☎966-1209